【松江市地域公共交通網形成計画　進捗管理一覧表】■基本方針大項目：Ⅴ　運賃見直し

〔実現性〕◎：すぐに実施可能　○：条件がクリアされれば実施可能　△：中長期的課

中項目	小項目	具体の施策項目	実施方針・実施内容	実現性	役割分担 主体	役割分担 支援	実施状況・現状		今後の予定
(1) 路線バス運賃制度等の見直し	① 初乗り運賃の値上げと遠距離割引運賃の充実	■初乗り運賃の値上げと遠距離割引運賃の充実	・初乗り運賃を値上げして、均一運賃エリアを拡大し、遠距離低減率を拡大する方向で検討・実施する	○	バス行政	市民	検討中 △	・検討中	事業者の状況を見ながら、必要に応じて検討
	② エリア均一運賃と対キロ運賃の併用	■エリア均一運賃と対キロ運賃の併用							
	③ 一畑バス・市営バス共通定期券の導入	■一畑バス・市営バス共通定期券の導入	・事業者間の調整を行い、共通定期券制度を導入する	○	バス	行政 市民	検討中 △	・検討中 ＊共通定期の発行には、①料金・経由地が同一の区間に限られること、②定期券売り上げの配分方法が明確であることが求められるが、現時点では対応できていない	引き続き検討
(2) 割引制度、コミュニティバス運賃の統一		■統一化された高齢者・障がい者割引制度、コミバス運賃制度の継続	・全ての路線バスで統一された高齢者・障がい者割引制度について、市民の意向を確認しながら継続して実施する ・コミュニティバスの統一された現在の運賃体系を継続する	◎	行政	市民 バス	実施 ○	・市内の全ての路線バスで高齢者割引を統一（H19.4月～） ・対象年齢：70歳以上　割引料金：一律100円引き（バスカード利用のみ） ＊H24.8月～H26.3月まで割引拡大の社会実験を実施したが、利用促進効果がみられなかったため、実験前の制度を継続 ・障がい者割引の対象者および割引額を統一(H19.4月～) ・コミュニティバスの運賃を1乗車200円（小人100円）に統一	引き続き実施
(3) 割引制度の見直し・充実	① 学生割引制度の導入	■学生割引制度の導入	・将来のバス需要の確保および自家用車による送迎を抑制し、バス利用の増加を図るため、通学フリー定期券を継続するとともに、普通運賃の学生割引制度を検討・実施する	○	バス行政	市民	実施 ○	・松江市交通局において通学フリー定期券「のりほSP」販売開始（H24.4月） ・1ヶ月単位の定期券（中学生以上5,000円、小学生2,500円）で、全ての市営バス運行路線（H24～26はハ東町を除く区間、H27以降はハ東町も含めた全区間）に乗車可能	引き続き検討・実施
		■通学費助成制度の継続実施	・通学定期について、一定額以上の負担に対して補助を行う通学費助成制度を継続して実施する	◎	行政	市民 バス	実施 ○	・「松江市通学支援補助制度」を導入（H19.4月～、H21.9月～制度拡充） ・松江市在住の小中高校生の通学定期券の購入費が1ヶ月あたり1万円を超えた場合、超えた部分を市が全額補助	引き続き実施
	② 乗継割引制度の充実	■乗継割引制度の充実	・バスカードを利用して乗り継ぐ利用者に対する運賃割引制度の拡充を検討・実施する ・ＩＣカードシステムの導入に併せ、乗継割引制度の拡充を検討・実施する	○	バス	行政	実施 ○	・バスカード利用の場合下記の通り乗継割引を実施している ①1時間以内に路線バスを乗り継ぎ、バスカードで運賃を支払う場合、乗り継いだバスの運賃を20円引き ②市営バスの南北循環線を乗り継ぐ場合、乗り継いだバスの運賃が半額	ＩＣカード導入時には、新たな乗継割引制度の拡充を検討・実施する
	③ 利用に応じた運賃割引制度の導入	■利用に応じた運賃割引制度の導入	・ＩＣカードシステムの導入に併せ、利用頻度の高い人ほど割安になるような運賃割引制度の導入を検討・実施する ・企業向けのインセンティブとして、通勤定期券の利用者数に応じた、定期券の割引率のかさ増し制度の導入を検討・実施する	○	バス	行政	検討中 △	・バス事業者の担当者レベルでの勉強会を実施（H28～不定期開催）	ＩＣカード導入時には、新たな運賃割引制度やインセンティブ等を検討・実施する
(4) 運賃支払いシステム（ＩＣカード）の導入		■ＩＣカードの導入	・バスカードシステムに代わる非接触型ＩＣカードシステムの導入に向け、より具体的な検討を行い、導入を図る	○	バス行政	市民 企業	検討中 △	・中海市長会にて宍道湖・中海圏域へのICカード導入に向けた調査・検討を実施（H23） ・松江市におけるICカード導入の可能性に関する検討調査を実施（H24） ・先進地視察を実施（H26：高松市、琴平電気鉄道、H27：熊本市） ・バス事業者の担当者レベルでの勉強会を実施（H28～不定期開催） ・JR山陰本線・伯備線（出雲市～伯耆大山～新見間）でICOCAが対応（H28.12月）	引き続き検討